

過程	○学習内容 ・ 学習活動	〔共通事項〕	◇教師の働きかけ◆具体的評価規準 【評価方法】
導入	○音楽に合わせて身体をほぐす 肩→呼吸→ほほあげ ☆ハローハロー（音の重なりや和声の響き） 1,旋律を音符で歌う （1音だけ伸ばして呼吸も知ろう） 2,ハンドサインをつけて歌う→その後歌詞 3,四声に分かれて歌う →可能であればパート一人ずつ 4,身体表現をつけて歌う 5,コミュニケーションゲーム（握手） ○ハミングワールド		◇3つの集中→足、手、目線に着目 姿勢、背筋ピン ・最初のドの音をあえて長く伸ばして何がきつかったかを体感させる。 ・ハンドサインを教える ・体ほぐしもかねて 優しい握手の人いた？ ハンドサインを頼りにハミングで音程を歌う
展開	ソプラノ、アルトの旋律を知ってハーモニーを感じよう		
・ まとめ	☆おなかの体操 ☆すばらしい言葉 ・アルト→ソプラノの順番で教える ※リズム、音程を丁寧に。 ・握手ゲーム すばらしい言葉を歩きながら歌う 「ありがとう」「こころ」「きみ」の歌詞を歌うときに友達と握手 ☆手合わせポン ☆わらべ歌（常時活動） 「なべなべ」 ☆夢の世界を ソプラノ、アルト音取り 児童ソプラノ教師アルト 合唱「夢の世界を」 輪唱 OR リズムゲーム		・移調して高くしたり、低くしたりして歌う。 ※級をつけて楽しく。発声を兼ねる。 ・歌えるようになった人は立つ ・覚えた人は後ろ向き ・覚えて、姿勢よく、1人で歌える人は椅子の上に立つ ・出来ればアカペラでゲーム ※繰り返し歌える工夫 ・動いた後の集中 ・移調していろいろ歌う。5度5度ハモリ。 「かえりましょー」で伸ばす練習。 ・ソプラノ、アルトで歌う。 ・ハモリでなべなべ身体表現。 ・ソプラノが歌えるようになったらピアノでアルトを弾く。児童に対旋律を気付かせたい。 ・児童に応援を頼み、前に出て歌ってくれるアルトを増やしていく。 ・パートは自分で選ぶ ・雰囲気ですぐ終わりを決める。